

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : V-GLUE(ブイ・グルー) 50 / V-GLUE(ブイ・グルー)100
会社名 : 株式会社 VICTAS
住所 : 東京都港区赤坂1-9-13
担当部門 : 製品本部
電話番号 : 03-5545-3933
FAX : 03-3588-5666
緊急連絡先 : 担当部門に同じ

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類対象外
健康に対する有害性 : 皮膚感作性 区分外
: その他 分類できない
環境に対する有害性 : 水生環境急性有害性 区分外
: 水生環境慢性有害性 分類できない

危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な損傷又は強い眼刺激性
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

注意書き : [安全対策]

作業は換気の良い場所で行うこと。
取り扱い後は、よく手を洗うこと。
蒸気を直接吸入しないこと。
目・皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡・保護手袋・防臭マスクなどの保護具を着用すること。

[救急処置]

(第4章応急措置参照)

[保管]

直射日光を避け、冷暗所で保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : ゴム系ラテックス

成分及び含有量 :

化学名又は一般名	官報公示整理番号	CAS No.	含有量 (%)
天然ゴム (イソプレン)	非該当	-	60~70
アンモニア	1類314	1336-21-6	0.15
水	非該当	7732-18-5	30~40

4. 応急措置

- 吸入した場合：患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、速やかに医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合：汚染した衣服を脱ぎ触れた部位を多量の水及び石鹼で洗い流す。外観に変化が見られたり痛みがある場合には医師の診断を受けること。
付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。かゆみ・炎症等の症状がでた場合は速やかに医師の診断を受けること。
- 目に入った場合：直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、眼科医の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：多量の水を飲ませて吐かせ、医師の診断、手当てを受けること。
(胃酸によってラテックスが凝固することがある。)

5. 火災時の措置

- 消火剤：粉末消火器、泡消火器、砂、霧状水、二酸化炭素。
(この製品自体は不燃性であるが、乾燥して固形物となった場合は可燃性である。)
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 特有の危険有害性：情報なし。
- 特有の消火方法：関係者以外立入り禁止とし、関係者以外安全な場所へ退去させる。
燃焼源の供給を速やかに止め、火災の拡大を防ぐ。
- 消火を行う者の保護：消火作業は適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
多量の場合、人を安全に退避させる。
- 環境に対する注意事項：流水中に混入すると薄められて大量の白濁水になる恐れがあるため、河川・湖沼等への流出が考えられる場合は水で洗い流すことは避ける。
周辺住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な処置を行う。
漏洩物を直接、河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法：少量の場合は、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させて取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
又は、バキューム等で汲み上げ、容器に回収する。
- 二次災害の防止策：情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策：取り扱い、換気のよい場所で行う。
皮膜形成防止のため取り扱いの都度、容器を密閉する。
- 安全取扱い注意事項：取扱いを行なう場合は、全換気又は局所排気下で行う。
- 保管
- 適切な保管条件：直射日光を避け5℃以上40℃以下の場所で密閉保管する。
- 安全な容器包装材料：密閉できる容器

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

管理濃度：設定されていない。
許容濃度：製品としては設定されていない。

含有物質名	日本産業衛生学会	ACGIH (2006年版)		OSHA
		TLV-TWA	TLV-STEL	PEL-TWA
アンモニア	25ppm	25ppm	35ppm	50ppm
天然ゴム (総タンパク質として)	設定されていない	0.001mg/m ³	設定されていない	設定されていない

設備対策：密閉された場所で行う場合は全換気装置又は必要に応じて局所排気装置を設置すること。

保護具：ゴム手袋、保護眼鏡（必要によりゴーグル型）

屋内作業場等で換気装置が設置されていない場合は、防臭マスクを使用することが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

物理的形状：液体
色：乳白色
臭い：アンモニア臭
沸点 (°C)：約100°C (水分)
凝固点 (°C)：約0°C (水分)
引火点 (°C)：計測不可能
比重：0.97 (20°C)
溶解性 (水)：水と任意に混合する。
その他データ

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の保管状態では安定である。
危険有害反応性：示さず。
避けるべき条件：データなし。
混触危険物質：強酸化剤
危険有害な分解生成物：CO、CO₂

11. 有害性情報

急性毒性：データなし。
皮膚腐食性・刺激性：ウサギを用いた皮膚刺激性試験でアンモニア水溶液による壊死を認めている。ヒトではアンモニアガスとの接触により著しい刺激、化学的熱傷等の報告があり、ガスの状態でも皮膚刺激物とみなされている。(アンモニア)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：目刺激 ウサギ 44µg 重度 (アンモニア)
呼吸器感受性：ATSDRでアンモニアガス暴露と気管支喘息を含む呼吸器症状との間に統計学的に有意な関連性があるとの報告がある。(アンモニア)
皮膚感受性：PriorityよりACGIHで感受性物質として掲載されている。(天然ゴム中のタンパク質)
生殖細胞変異原性：in vivo 変異原性試験 (マウス小核試験) の陽性結果がある。(アンモニア)
発がん性：データなし。
特定標的臓器・全身毒性
単回暴露：ヒトでの呼吸困難、肺水腫、気管支肺炎などが症例報告されている。(アンモニア)
反復暴露：ラットの反復吸入試験において、気管支周囲炎を伴う間質性肺炎がガイドランス値 区分2の範囲で認められている。大量にアンモニアの職業暴露を受けたヒトでは、慢性呼吸困難とともに収縮性肺機能障害、閉塞性肺疾患など同一の臨床像が報告されている。(アンモニア)

12. 環境影響情報

生態毒性
魚類：急性有害性 ヒメダカLC₅₀ 1000mg/l ~ 10000mg/l (類似品データ) 区分外
慢性有害性 データなし
その他生物：データなし
残留性・分解性：データなし (ただし、本製品の主成分である天然ゴムは生分解性を有するため、残留性は低いと考えられる。)
生態蓄積性：データなし
土壌中の移動性：データなし (ただし河川などに流出した場合、広範囲に白濁汚染する。)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 廃液は、水質汚濁防止法等の規制により下水に流して処理してはいけない。

汚染容器及び包装：容器は清浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類：該当なし

国連番号：該当なし

IATA/ICAO：非航空危険物該当

国内規制

海上規制情報：航空安全法の規定に従う

航空規制情報：航空法の規定に従う

陸上規制情報：消防法の規定に従う

輸送の特定の安全対策及び条件：容器の転倒、落下、衝撃を加える、引きずる等の乱暴な扱いをしない。

1 5. 適用法令

消防法：凝固させた場合の固形物のみに該当

指定可燃物 可燃性固体類

毒物劇物取締法：該当なし

労働安全衛生法：通知対象物質

政令番号 第39 アンモニア

PRTR法：該当なし

航空法：該当なし

危規則：該当なし

1 6. その他の情報

主な引用文献：製品安全データシートの作成指針（改訂版）：社団法人日本化学工業協会

化学物質等安全データシート（MSDS）：内容及び項目の順序

GHS混合物分類判定マニュアル：経済産業省

化学物質の危険・有害性便覧：中央労働災害防止協会

記載内容の問合せ先：株式会社VICTAS 製品本部

TEL：03-5545-3933

FAX：03-3588-5666

この製品安全データシートは危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者には提供されるものです。

記載内容は現時点で入手した資料や情報に基づいて作成いたしておりますが、記載のデータや評価に関しては情報の完全さ正確さを保証するものではありません。

従って本データシートそのものは安全の保証書ではありません。

取扱う事業者は、これを参考とし自らの責任において個々の取扱い等の用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いをお願い致します。

以上